

9月6日(土) 研究発表第8室 (16号館309)

発信型リーディング教材の開発をめざして
For Development of Communicative Reading Materials

発表者 幸重美津子（同志社女子大非） 上岡サト子（大阪国際大非）

本発表はJACET関西支部「教材開発」研究会の共同研究に基づくもので、共同研究者は小田幸信（同志社女子大）、濱田佐保子（聖泉短大）、川野眞次郎（大阪青山短大）、芝智子（同志社女子大非）、杉下恵子（大阪国際非）、田村寿美恵（聖泉短大非）、永野喜子（福岡女学院短大非）である。

はじめに本研究グループの読解指導のためのテクスト開発の基本的立場を述べ、目下作業を進めている教材の全体及び各課の構成について順次紹介する。

1. 基本的立場

本研究グループは当初から大学教養課程における通年の使用を想定した「発信型」のリーディング教材の開発を目標にして、その意義を検討し、具体的な方法を模索しながら研究を進めてきた。こうした教材の開発にあたっては、辞書で単語を調べ英文を日本文に置き替える訳読中心の従来型の読解指導は、英語でのコミュニケーション能力の向上を望む多くの学習者の意識の変化や急速な国際化による社会的ニーズの増大に充分対応していないのではないかという教育現場の反省を共通の問題意識としている。更に、中学校や高等学校にオーラル・コミュニケーションの授業が既に導入され、徐々に発信型という側面が重視されつつある今日、大学教育においても、前課程の成果を踏まえて、体系的に発信能力を育成する必要があるとの認識が背景にある。

本プロジェクトではリーディングを材料としての発信能力の向上を目指している。ここで言う発信型とは、学習者に考える場を与えて、考えたことを発信させるという意味である。即ち、学習者をテクストの呪縛から解放し、読んだ内容を材料として、自由な発想、思考を促しながら、学習者をそれぞれ個性を持った発信者に育てることである。多くの日本人大学生は自分の意見をまとめ発言するのが苦手であり、また、どのように対等の立場で議論を進めてよいかもわからない。自己と対象との関係意識が希薄であるせいか、具体的に思考できないという問題をかかえている。従って、画一的で、個性に乏しい意見しか表出できない。こうした日本人学生のこの面での能力の弱点を克服する場として、読解指導は一つの役割を果たせるものと考える。このような発信型の読解指導では、readingからspeaking, listening, writingという技能を使うことになるわけであるが、多くの研究者が4技能を統合させることの効果について提唱している。たとえば、Anne Raimes (1983)はreadingからwritingへとタスクが構成されると情報の理解、処理、再発信へと学習者の能力を向上させることが可能であると述べている。また、Donn Byrne(1981)は4技能は実生活において、たいてい統合されているので、できるだけ自然な方法で違った技能の練習の導入を提唱している。reading学習のなかで本当の意味でのコミュニケーション活動をどのように成立させるかが重要となる。

9月6日(土) 研究発表第8室(16号館309)

2. 全体の構成

全体の構成は画一的ではなく多様性をもたせている。その理由は、話題、題材に最も効果的だと考える発信内容や手順が異なる為である。それによって、毎時間変化のある授業が展開され、学習者の興味を持続させることができると考えている。題材は新聞、雑誌、海外の教科書、個人の手紙、広告、パンフレット等、話題の方寄りを避けるとともに、多様な文体の特徴を学習できるよう心がけた。リーディングにおいては、内容理解の程度については均一な読解力は求めず、続くタスクが行える程度の理解力を要求している。タスクはコントロールされた内容理解のタスクから次第に自由な発信を求めるタスクへと配列し、抽象的な発信しにくいタスクは避け、発信への意欲を喚起し、同時に発信するためのスキルが修得できるように作成している。学習者はテクストを読みながら、あるいは読んだ後に添付のタスクを単独で、時にはペアやグループで行う。50人程度のクラスにおいても、一人一人の学生が発言する機会を与えるように配慮している。指導者の判断で場合によっては日本語の使用を許し、まず日本語で議論をさせることも奨励される。

自発的な発信を助ける語彙力を重視し、語彙については内容理解の助けとなるように10語程度を目安に問題の形式で、ないしは解説をつけて提示している。

3. 各課の構成

既に述べたように、各課が同じフォーマットを取らず多様性を重視しているが、各課の基本的な展開は以下のようである。

Pr-reading - これから読む題材について興味、関心を喚起する視覚教材の提示やWarm-up用の質問を行う。

Reading - 的確な情報収集と全体的な内容把握に重点を置くが、すべてについて精読は求めない。

Vocabulary - 内容理解を容易にし、発信能力の助けとなる10語程度の語彙問題の提示する。

Comprehension Task - 内容把握の確認と発信の準備段階となるタスクを提示する。

Communicative Task - 各課の話題に関して自発的発信を促すタスクを提示する。

まとめ

リーディング教材をもとに発信能力を育成する教材作成の難しさは、日本人大学生のリーディング能力と発信能力の大きな差にある。かなり易しい題材を使用すれば、発信させるのが容易であるかもしれないが、読解力の向上、リーディング自体に学生の興味をひきつけることは期待できない。更に、単なる日常会話ではなく、大学教育にふさわしい内容のある発信をめざすには、大学生レベルの題材を選択しなければならない。ある程度のレベルの題材から発信へとつなげていく工夫が必要であったが、まだ十分とはいえない。更に、タスクのパイロットスタディは行っていないので、改善の余地を残している。

9月6日(土) 研究発表第8室(16号館309)

研究発表資料 1

発信型リーディング教材のタスク紹介

(1) Pre-readingタスク例

例 (1)

Japanese Cooking

These are some typical Japanese dishes. Guess the names of the dishes.

1. steamed egg soup
2. rice with chicken and egg
3. folded fried egg
4. omelette roll
5. full moon udon
6. rice cooked with chicken and vegetables
7. grilled chicken on skewers

(answers. 1 茶碗蒸し 2 親子どんぶり 3 卵焼 4 だし巻き
5 月見うどん 6 炊き込みご飯 7 焼き鳥

例 (2)

Choose the appropriate catchphrase for each advertiser.

- | | |
|---|----------------------------------|
| 1) Call us last for best! | a) Coca Cola |
| 2) Simple Sinless Desserts | b) Salad-dressing Wish-Bone |
| 3) Radio? Buy a Sony. | c) Discount ticket No.1 Travel |
| 4) Great potential jumpers | d) Brownie Bites---not fat |
| 5) Less pain. More gain. | e) Sports Horse Stud |
| 6) Can't beat the real thing. | f) Sony |
| 7) Healthy Sensation | g) Maggi---fat free dressing mix |
| 8) If you want something done right, h) Smart Characters
do it yourself. | Asian language word processor |

(2) Vocabularyタスク例

Look at the following affixes. An affix is to change the word's meaning or its use. You can guess the meaning of unknown words by dividing the words by affixes. Now, add some more examples to each affix listed below.

1) re-

replace
recall

2) em-

embodiment

(以下省略)

9月6日(土) 研究発表第8室 (16号館309)

研究発表資料 2

(3) Comprehensionタスク例

Paragraph Reading

You are going to read a magazine article about good health. Choose from the list (A-G) the sentence which best summarizes each part (1-6) of the article.

- A. Recently a researcher says that we can prevent cardiovascular disease by burning 1,500 calories weekly.
- B. We should do exercise regularly, but not strongly.
- C. There are many people who do not do exercise.

(以下省略)

(4) Interactiveタスク例

Task 1: Useful Expressions

Learn more phrases and complete the sentences below by matching two parts.

-
- 1. The company made great sacrifices... . . . のために犠牲を払う
 - 2. take responsibility for... . . . の責任を負う
 - 3. It is selfish of someone... someoneが . . . するのには自分勝手である
 - 4. If it were not for... もし . . . がなければ . . . だろうに
 - 5. ... is not the only purpose of... . . . は . . . の唯一の目的ではな
-
- 1. The company made great sacrifices a. for losing money
 - 2. I will take full responsibility b. nothing could be alive
 - 3. If it were not for water c. for the sake of long-term growth

(以下省略)

Task 2: Point of View

Divide the following opinions For and Against viewpoints.

Preposition: To have children is not a necessity in our life.

- 1. One purpose of marriage is to bear and raise up children and we should take responsibility for prospering our descendants.
- 2. If it were not for children in a family, you could save time and money so that you could live a significant life in another way.

Task 3: Viewpoint

Build up your own viewpoints about the followings.

- 1. I believe that children are (indispensable/not indispensable) to marriage because
- 2. If it were not for children in a family,

Task 4: Debate

Separate into two groups and debate about the topic using the viewpoints.